

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1311051000594
施設名	BunBu学院Jr.中目黒園
施設所在地	東京都目黒区青葉台1-15-14
法人名	株式会社ニリア・パニー

1. 活動のテーマ

<テーマ>

フラワー体験1月9日

<テーマの設定理由>

五感として、科学への関心を目の前で子どもたちが楽しんで学べるように、プロの芸人を呼び、サイエンスショーを開催しました。今回は初回ということもあり、身近な科学である、水と石鹼をしようしたシャボン玉を中心にしました。

2. 活動スケジュール

10:00

サイエンスショーの様子を園児である子どもたち、保育士以外にも、保護者様にもご参加いただきました。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・シャボン玉をショーとして見せるために、広めの会場にて、ビニールシートや、大き目のバケツ、水、洗剤、針金、軍手、ぞうきんなどを準備しました。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・音楽とともに芸人が登場したところから、ショーが始まり、通常のシャボン玉、様々な形のシャボン玉、三角の型であるとシャボン玉はどのように変化するのか、シャボン玉を触ることはできるのか？太めのストローだとどうなるのか？子どもたちのわくわく感は広がります。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・芸人の方の掛け声によって、子どもたちは楽しそうにその様子を見ていました。シャボン玉が形を変えても、丸いシャボン玉になること、大きなストローであると、膨らませるのも肺活量が必要となり、大変である様子を見て、子どもたちからは笑い声などが飛び交いました。
また、担任の先生がシャボン玉に触れると、どうなるのか？シャボン玉はつぶれてしまうのか？先生頑張れっという声の中、保育士と観客側の子どもたちが一体となっていました。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。
(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

シャボン玉は身近にあり、簡単に遊べるものであるとともに、空に舞うということが子どもたちにとっては、改めて科学というものは、楽しいものだと感じていたようでした。特に軍手をつかった、シャボン玉をバウンドさせる実験は、真似たがる子が多いように思いました。

